

2015年度第1四半期実績の概要

2015年7月31日

LEAD THE VALUE

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

2015年度第1四半期業績の概要

- 国内外ともにマーケティング部門が順調であったことや、SMBC日興証券における株式委託売買等の好調、SMBCにおける株式インデックス投信の評価益実現等から連結粗利益が伸長
- SMFG連結の親会社株主に帰属する四半期純利益は、経費やクレジットコストの増加を吸収し、前年同期比で+371億円の増益、2,679億円の高水準を確保

主な財務指標

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		SMFG連結	業務純益*2		SMBC単体
2,679億円	前年同期比 +371億円 通期業績目標比 約35%		2,394億円	前年同期比 +98億円 通期業績目標比 約32%	
ROE*1		SMFG連結	与信関係費用		上段: SMFG連結 / 下段: SMBC単体
15.1%	【中計財務目標】 10%程度		65億円	【2015年度目標】 1,200億円	
経費率		SMFG連結	204億円 (戻り)	【2015年度目標】 0億円	
53.6%	【中計財務目標】 50%台半ば				

1株当たり情報 (SMFG連結)

	15年度	前年同期比	15年度	15/6月末	15/3月末比
	4-6月		目標		
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	195.92円	+27.10円	555.86円	6,743.54円	+144.67円
純資産					

2015年度第1四半期業績サマリー

P/L

(億円)		15年度		上期目標	15年度 目標
		4-6月	前年 同期比		
SMFG 連結	連結粗利益	7,960	+875	14,900	30,300
	営業経費	4,268	290		
	連結業務純益	3,750	+644		
	与信関係費用	65	317	550	1,200
	経常利益	4,045	+370	6,200	12,400
	連単差	1,422	+542	2,300	5,000
	親会社株主に帰属する 当期純利益	2,679	+371	3,800	7,600
連単差	829	+532	1,000	2,500	

SMBC 単体	業務粗利益	4,404	+189	8,000	15,800
	経費 ^{*1}	2,010	91	4,100	8,200
	業務純益 ^{*2}	2,394	+98	3,900	7,600
	与信関係費用	204	169	50	0
	株式等損益	283	25		
	その他臨時損益	258	76		
	経常利益	2,623	172	3,900	7,400
当期純利益	1,850	161	2,800	5,100	

SMBC以外の主要グループ会社の 連結当期純利益寄与(概数)

(億円)		15年度	前年
		4-6月	同期比
SMBC日興証券		180	+90
SMBCコンシューマーファイナンス		120	40
セディナ		70	10
三井住友ファイナンス&リース		70	10
三井住友カード		40	+0

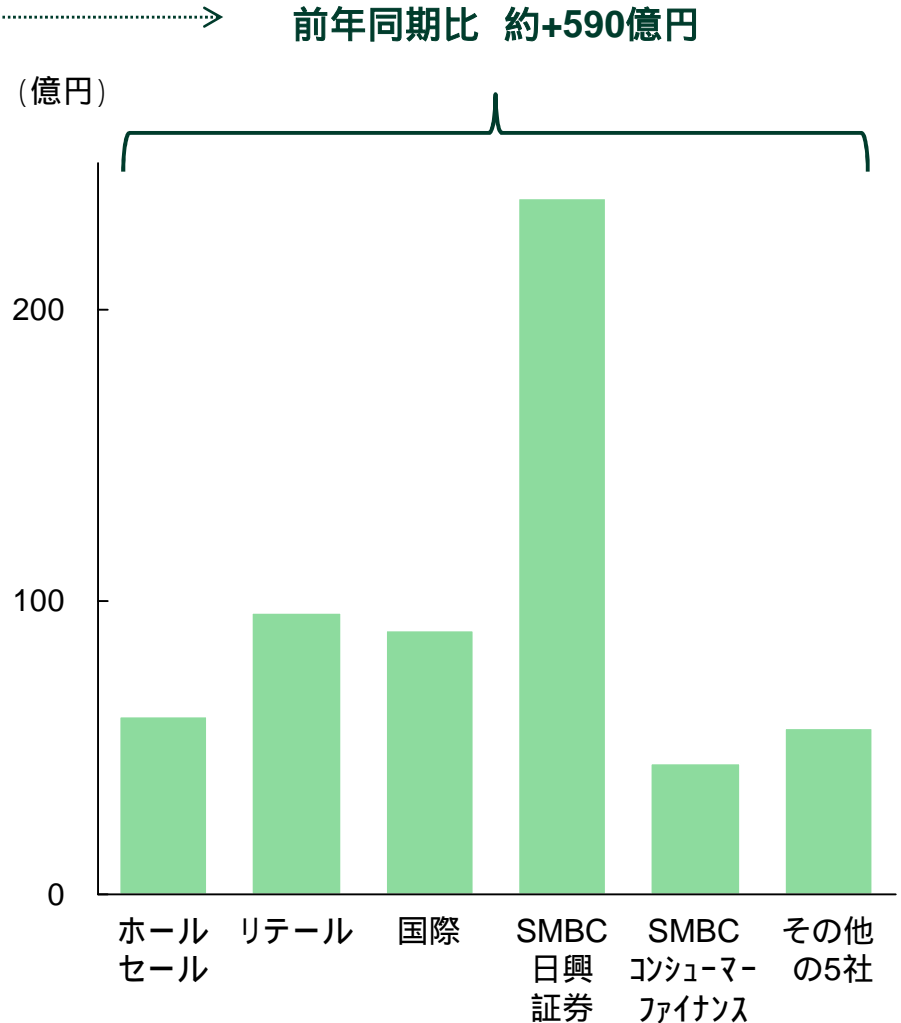
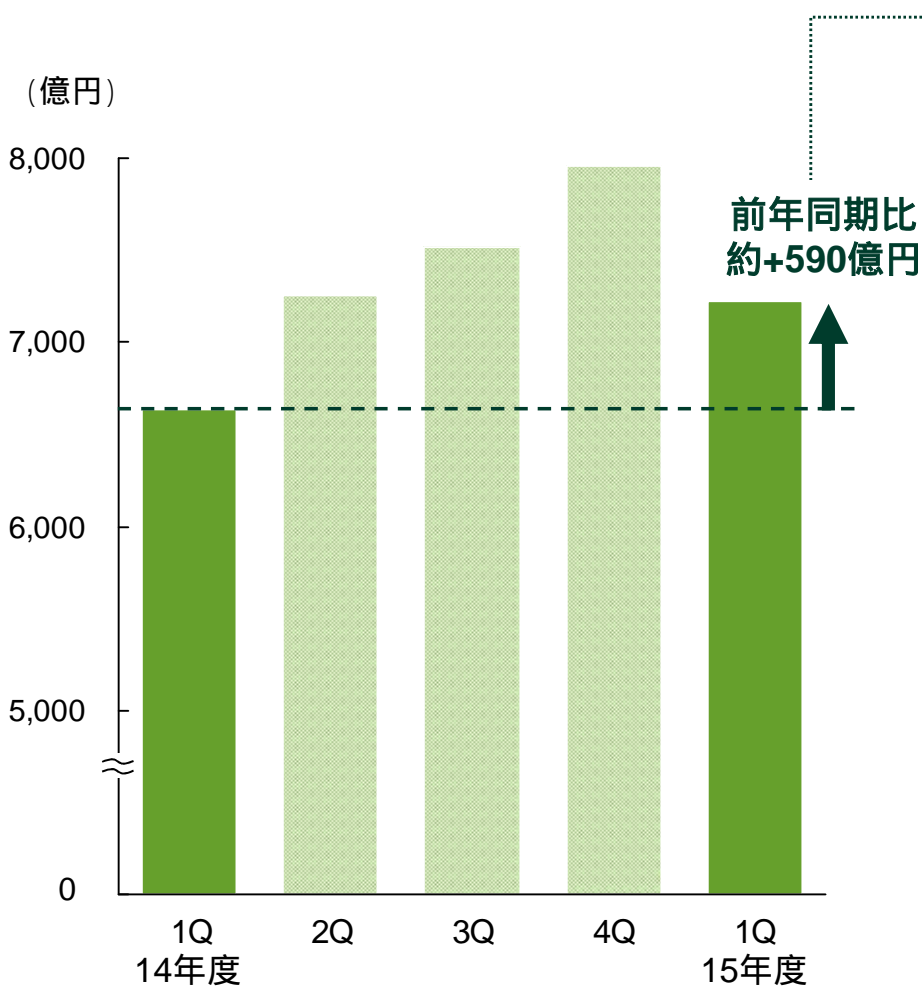
格付(SMBC)

Moody's	A1 / P-1
S&P	A+ / A-1
Fitch	A- / F1
R&I	AA- / a-1+
JCR	AA / J-1+

SMFGのマーケティング部門および主要子会社7社*1合算の連結粗利益*2

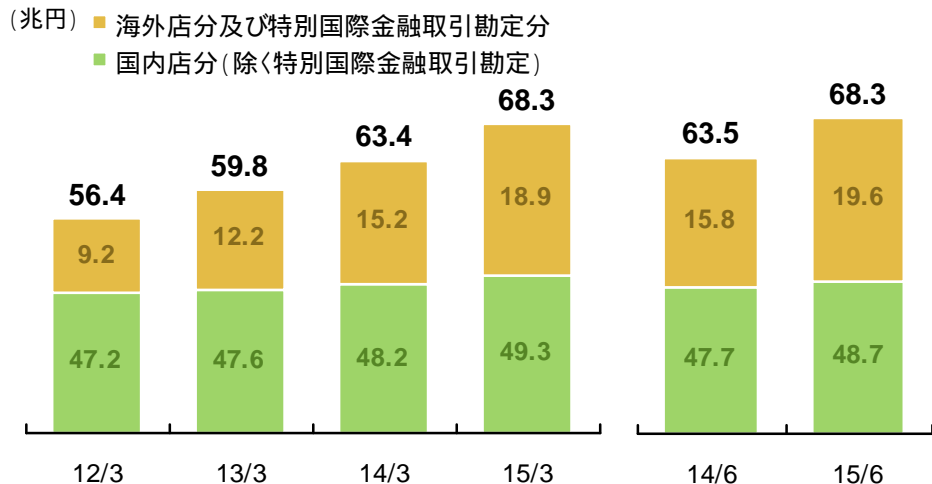
四半期実績推移

2015年度第1四半期の前年同期比の内訳

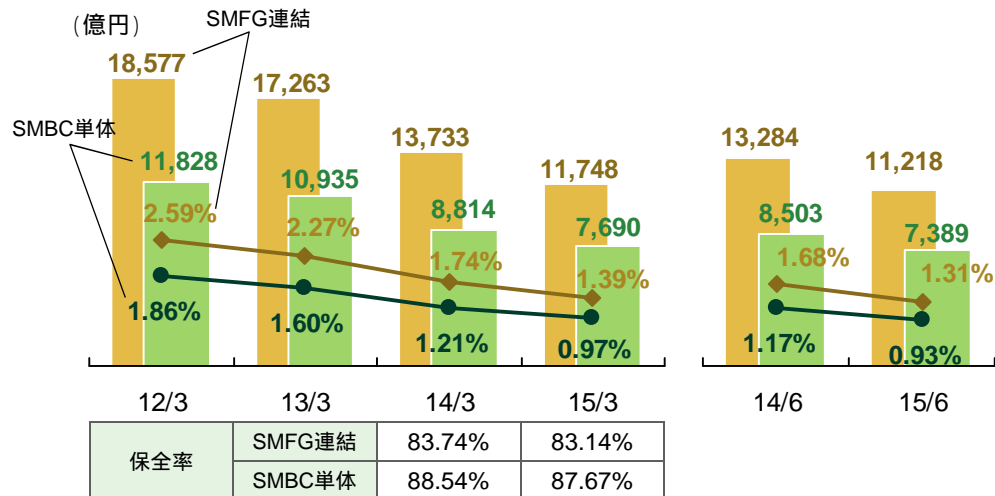


主要項目の時系列推移

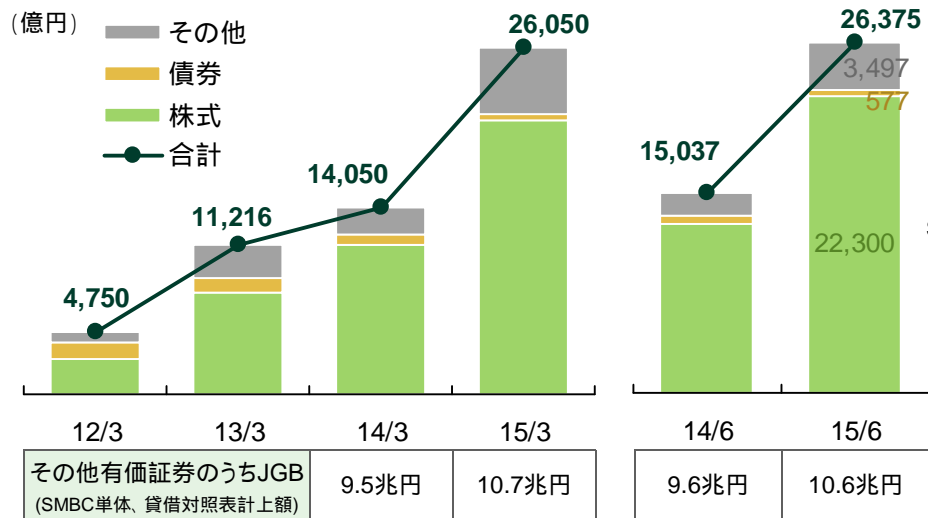
貸出金残高 (SMBC単体)



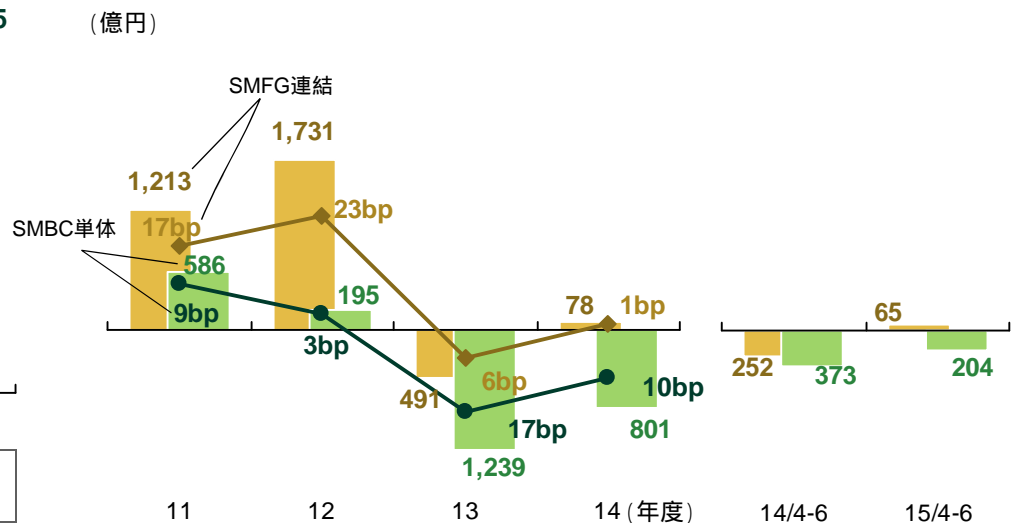
不良債権残高及び同比率*1



その他有価証券評価損益 (SMFG連結)



与信関係費用及び同比率*2

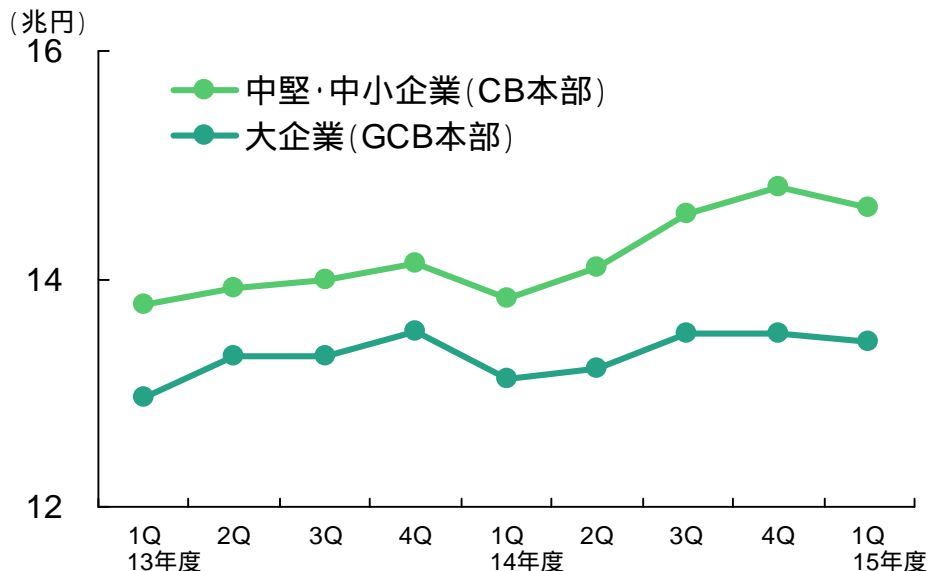


*1 不良債権比率 = 金融再生法開示債権残高 (除く正常債権) / 総与信

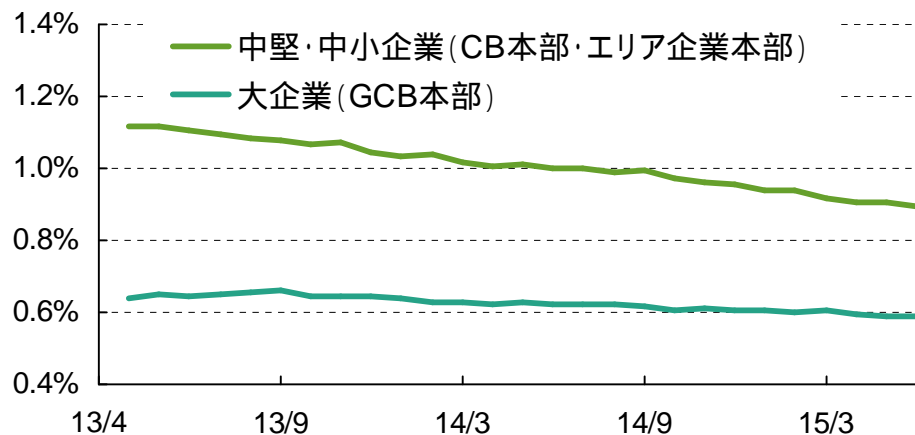
*2 与信関係費用比率 = 与信関係費用 / 総与信

ホールセールビジネス

ホールセール部門貸出金残高 (SMBC単体)^{*1, 2}

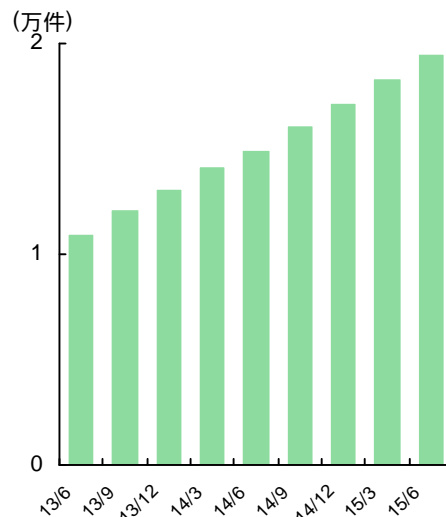


国内法人向け貸出金スプレッド (SMBC単体)^{*1, 3}

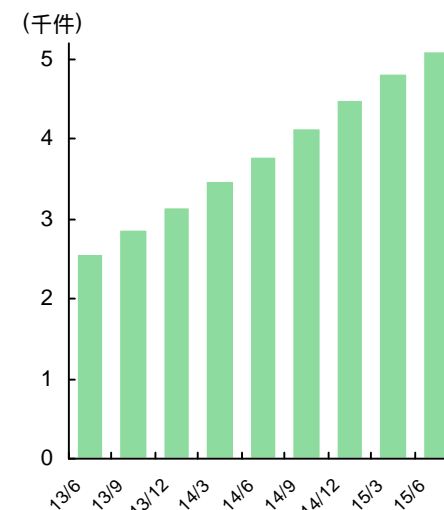


銀証連携 (SMBCから日興への法人のお客さまの紹介・仲介)

運用業務 (累積件数)



投資銀行業務 (累積件数)



リーグテーブル (15年4月-6月)^{*4, 5}

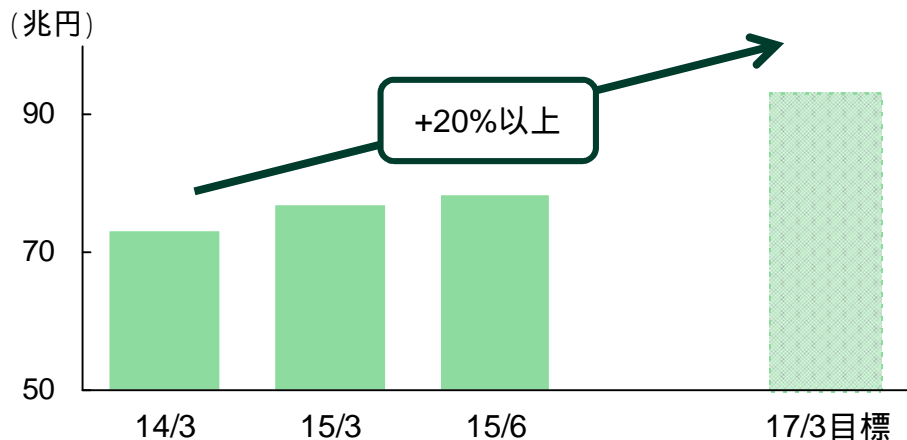
	順位	シェア
株式関連 (ブックランナー、引受金額) ^{*6}	4位	12.5%
円債総合 (主幹事、引受金額) ^{*7}	4位	19.0%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、案件数) ^{*8}	1位	7.0%
ファイナンシャル・アドバイザー (M&A、取引金額) ^{*8}	6位	18.0%

*1 内部管理ベース。国内営業体制の見直しに伴い、14年度より管理区分を変更。13年度実績は、見直し後の管理区分に基づき算出
 *2 四半期平残 *3 月中平残、ストックベース *4 株式関連、円債総合はSMBC日興証券、ファイナンシャル・アドバイザーはSMFG
 *5 出所: トムソンロイターの情報を基にSMBC日興証券が作成 *6 日本企業関連、海外拠点を含む
 *7 事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債 *8 日本企業関連公表案件(不動産案件除外)、グループ合算

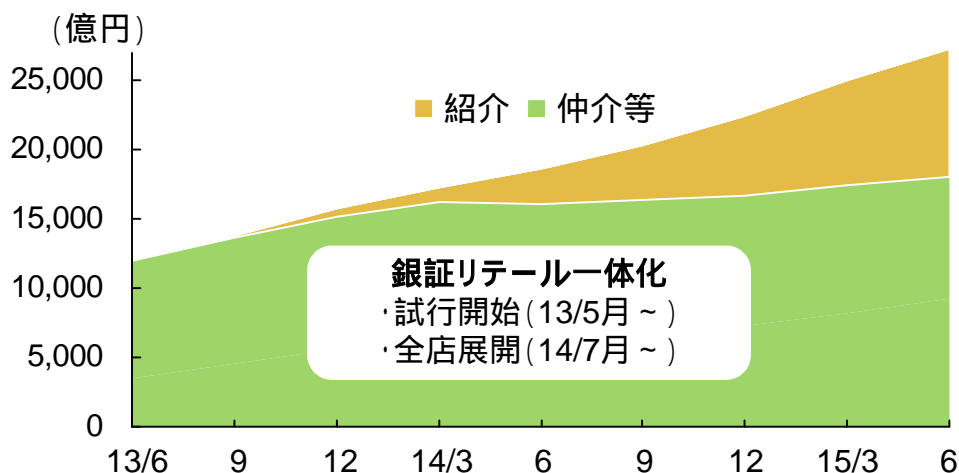
■ リテールビジネス / SMBC日興証券の業績

銀証連携(個人)

リテール預り資産残高(SMBC+SMBC日興証券)



銀証連携による預り資産残高*1 (SMBC日興証券)



SMBC日興証券：業績(連結)

(億円)	14年度	15年度 4-6月	前年 同期比
純営業収益	3,292	886	+210
販売費・一般管理費	2,352	640	103
経常利益	962	254	+109
親会社株主に帰属する 当期純利益	647	215	+117

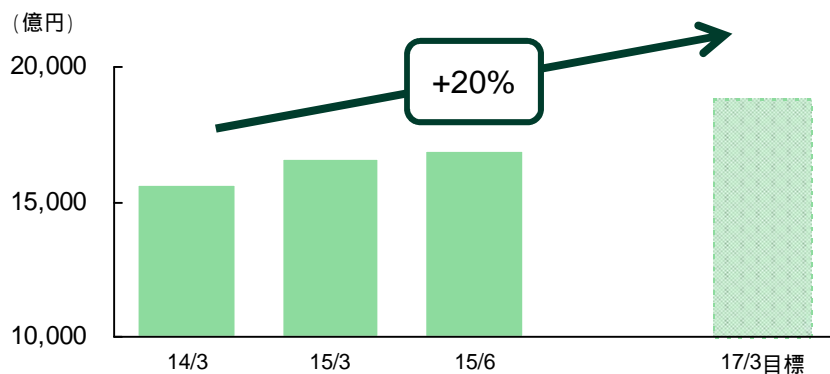
シティバンク銀行のリテールバンク事業取得

- SMBC信託銀行は、関係当局からの許認可等を前提に、2015年11月1日に、シティバンク銀行のリテールバンク事業を統合予定
 - 預金: 2兆4,400億円*2、店舗数: 32支店*3、顧客数: 約74万人*2
 - 統合日以降の新ブランド「PRESTIA(プレスティア)」
- SMBCにおいて各種手数料優遇策を開始(2015年4月以降)

PRESTIA

■ コンシューマーファイナンス

無担保カードローン残高 (SMBC+SMBCコンシューマーファイナンス)



SMBCコンシューマーファイナンス：業績 (連結)

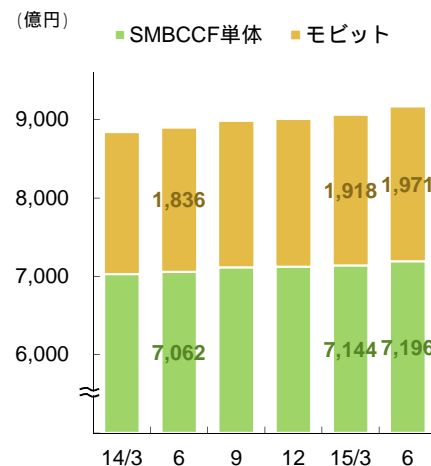
(億円)	14年度	15年度 4-6月	前年 同期比
営業収益	2,283	598	+44
営業費用のうち貸倒費用	479	173	56
営業費用のうち利息返還費用	448	-	-
経常利益	166	131	48
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	120	43

営業貸付金残高	9,803	9,959	
利息返還損失引当金	1,276	1,109	
保証残高	9,154	9,568	
うち地方銀行等向け	3,724	3,985	保証事業 提携先数 189社 (15/6月)

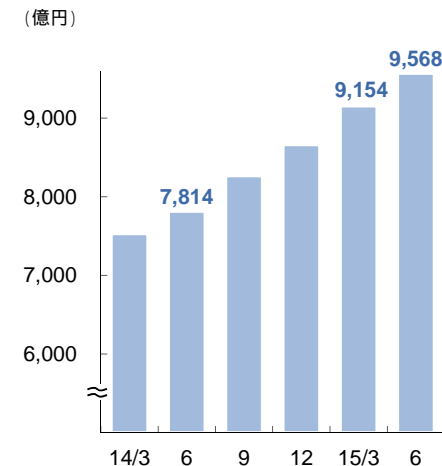
* 現地通貨建を円換算

SMBCコンシューマーファイナンス：金融・保証・海外事業

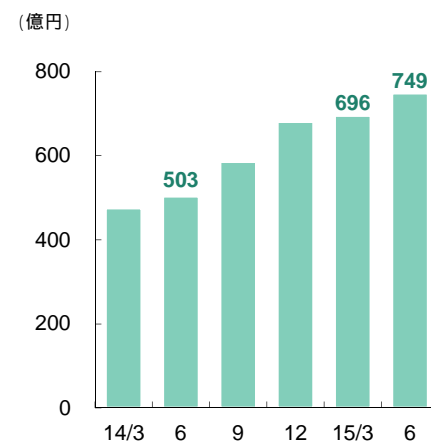
営業貸付金残高



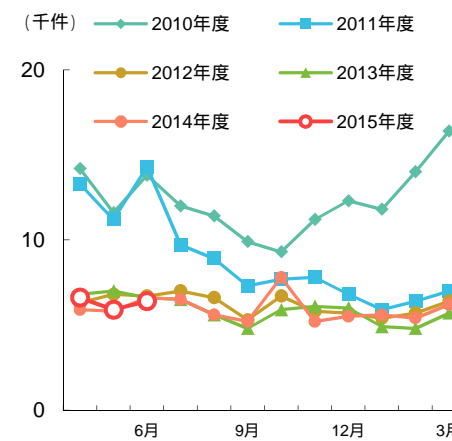
保証残高



営業貸付金残高 (海外)*

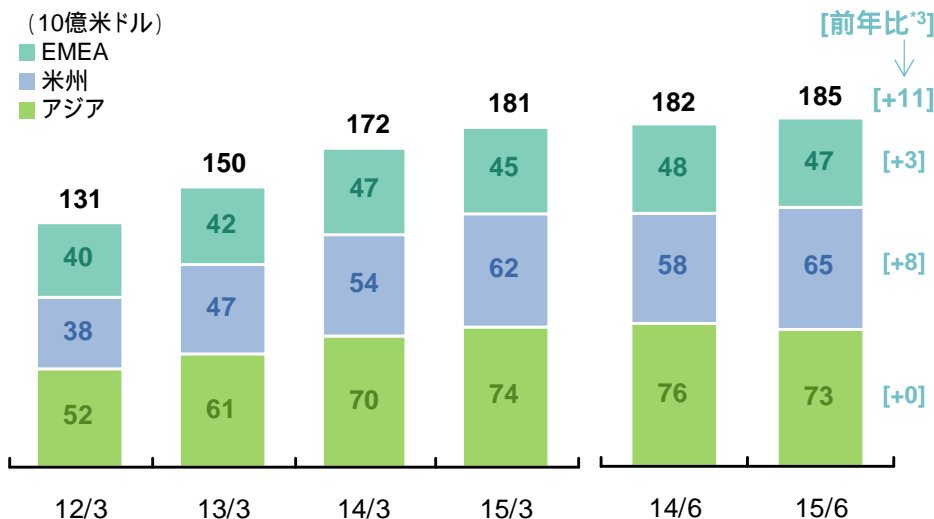


利息返還請求件数

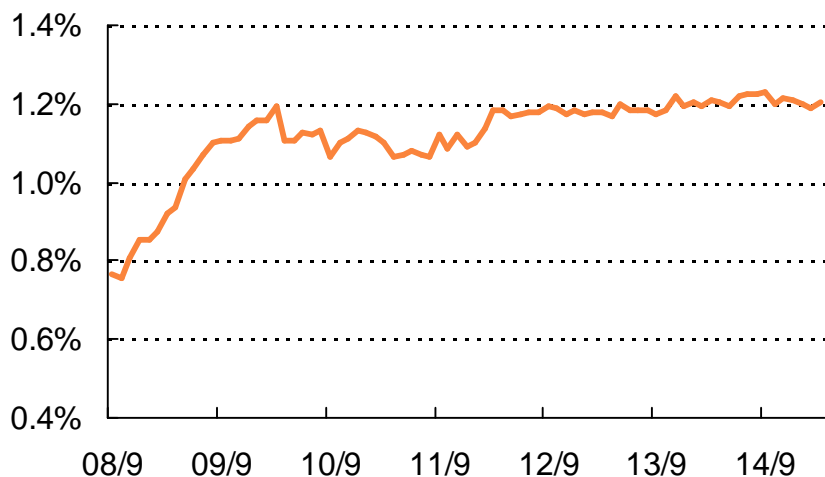


海外ビジネス

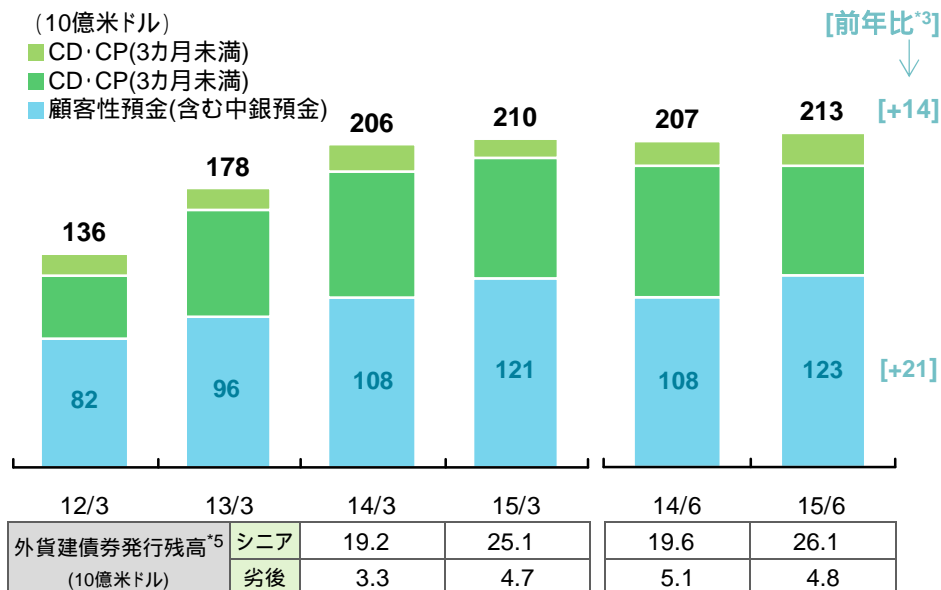
海外貸出金残高(含む、貿易手形)^{*1, 2}



海外貸出金スプレッド^{*1, 4}



海外預金等残高^{*1, 2}

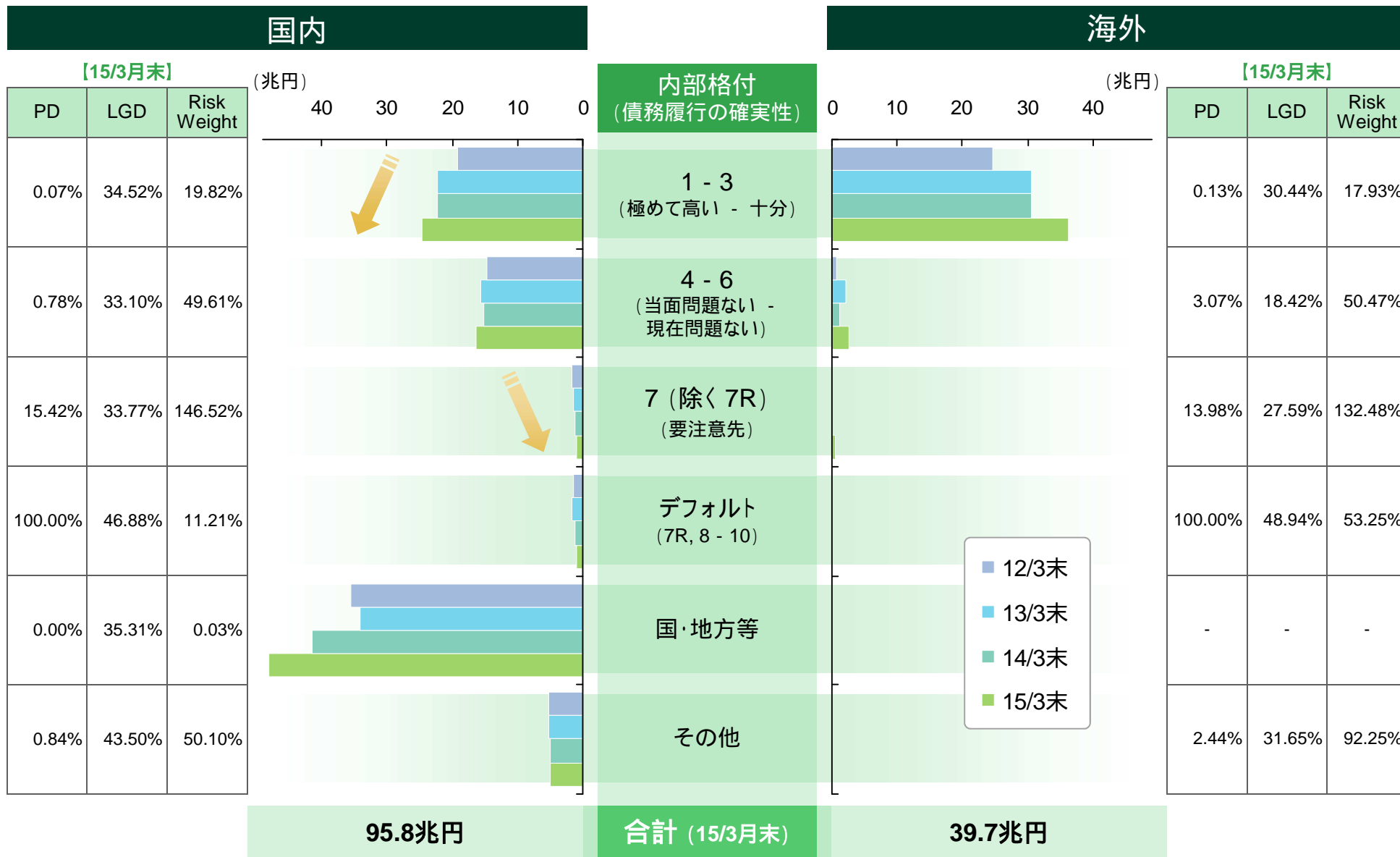


- 海外機関投資家向けに米ドル建シニア債(15/7月、30億米ドル)を発行

トピックス

- 米国・General Electricグループより欧州における貸出資産等を取得することについて合意
 - 質の高い優良な資産を積み上げると共に、ポートフォリオの分散を進めながら収益性の改善を図る
 - 欧州の非日系中堅企業約100社を対象としたPEファンドによる買収に伴う貸出資産(債権額面約22億ドル^{*6}) 2015年度半ばの取引完了を予定

■ (参考) 事業法人、ソブリン、金融機関等向けエクスポージャー



(SMFG連結)

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与うるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。